

## 平成23年度 第4回 鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 平成24年3月13日(火) 15:00～17:00

場 所 鳥取大学事務局3階 第1会議室

出席者 安藤委員、岡本委員、長谷川委員、永井委員

能勢委員、林委員、本名委員、萩原委員、井藤委員、小林委員、北野委員

欠席者 平井委員、古澤委員、吉岡委員

[陪席者] 山根監事、岸田副学長、清水副学長、矢部副学長、細井副学長、若副学長、

安藤地域学部長、田中工学研究科長、北村農学部長

議事に先立ち学長から、大学改革・機能強化の支援として、平成24年度予算で「国立大学改革強化推進事業費」138億円が措置されたこと、今国会において国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律が成立したこと、グローバルな人材養成を目的とした秋入学について検討がなされていることなど、最近の状況に触れ、委員の皆様方から意見を賜りたい旨挨拶があった。

### 議 題

#### 1. 平成24年度学内当初予算(案)について(資料1)

林理事から、平成24年度学内当初予算(案)についての説明があり、承認された。(主な概要について以下のとおり)

- ・運営費交付金について、大学改革促進係数(△1.3%、対前年度比79百万円減)、特殊要因経費の減額調整により、総額で対前年度比413百万円の減。
- ・教育経費、研究経費について学生数、教員数に基づき配分することとし、前年度と同額を維持。
- ・授業料免除について、免除者の拡大を実施すべく対前年度9百万の増。
- ・事務局管理経費について、前年度に引き続き対前年度比5%減。
- ・GCOE等外部資金による大型プロジェクトのうち、期間終了後も継続的支援が必要と認められる事業について支援するための経費として新規に44百万を計上。(次の外部資金獲得に向けての支援制度であり、無期限ではない。)

#### 2. 平成24年度年度計画(案)について(資料2)

小林副学長から、平成24年度の年度計画(案)について、教育、研究、社会連携、管理運営等に関する本学の特徴的な計画について説明があり、承認された。

#### — 委員の主な発言 —

- ◇ 永井委員から、「附属学校に関する計画」に記載されている事項の、教員免許の講習について現場の実態を踏まえたものとなっているかとの質問があり、本名理事から、ものづくり教育を

初めとして座学だけでなく、現職の教員と実際の現場を見ながら学習していただけるような講習を行っており、来年度から、附属小中学校の現場を使用した講習を行うことにより、更なる課題解決型の講習ができるように努めて行くこととしている旨説明があった。学長からも現在学校現場で起こっている問題解決の一助となるべく、今後もさらなる検討を進めていきたい旨説明があった。

### 3. 職員給与の取扱について（資料3）

萩原理事から、職員給与の取扱について、人事院勧告分(0.23%減)については、4/1 から引き下げる方向で進めて行きたい旨の説明があり、承認された。

また臨時特例法案については、運営費交付金の取扱が不明であり、他大学の状況等がある程度明確になった時点で、改めて各委員から意見をお伺いしたい旨説明があった。

#### — 委員の主な発言 —

- ◇ 岡本委員から、運営費交付金について、大学改革促進係数分（1.3%減）が減額されており、国家公務員と同一の扱いとする必要はないのではないかとの発言があった。
- ◇ 安藤委員から、鳥取大学教職員組合に対して労働基本権は付与されているのかとの質問があり、萩原理事より民間と同様の権利が付与されている旨の説明があった。
- ◇ 長谷川委員から、今回の取扱については、回りの状況を見ながら対応を検討して行く必要があるのではないかとの発言があり、学長から国の状況等を踏まえて本学の対応を検討していきたい旨発言があった。

### 4. 技術部組織の一元化（案）について（資料4）

井藤理事から、技術部組織の一元化について、現在各部局に所属している技術系職員を組織・一元化することを進めており、4/1 実施に向けて関係規則の整備を行っている旨の説明があり、承認された。また学長より現在学内で還流中であり変更等あれば改めて報告させていただく旨説明があった。

### 5. 岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科設置構想（案）について（資料5）

本名理事から、岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科設置構想（案）について、全国の獣医系学部・学科の共同設置の状況及び岐阜・鳥取大学獣医学科の全体構想などの説明があり、これらの内容で文部科学省と協議を進めていきたい旨説明があった。

#### — 委員の主な発言 —

- ◇ 安藤委員から、設置後の見通しについて質問があり、本名理事から学部教育終了前には、大学院博士課程の議論は必要だと認識しており、まず学部改革を行い、次いで大学院改革をおこなっていききたい旨の説明があった。また学長からも学部教育と大学院教育との整合性を今後図っていく必要がある旨発言があった。

## 報 告

### 1. 大学改革について（文部科学省資料）（資料6）

林理事から、大学改革について行政刷新会議で指摘された課題を受けて、文部科学省の取り組み等について報告があり、本学としても改革に向けた取り組みを行っていく必要がある旨の報告があった。

## 2. 学部学生の「秋入学」について（資料7）

本名理事から、東京大学の秋入学の方針を受け、本学としても検討を開始することとしており、3月中に小委員会を設置する予定で、検討課題に対応していくべく情報を収集しているところである旨の報告があった。

### — 委員の主な発言 —

◇ 安藤委員から、秋入学については教育中心に議論されているが、社会全体、特に経済界との議論もあった方が良いのではないかと意見があり、本名理事から学生は卒業後社会に出ることからも、社会とのつながりは重要であり、社会がどのような人材を求めているのか教育内容を含めて、経済界と意見交換の場を設けたい旨発言があった。また学長から、これを機会に大学教育の更なる質の向上につなげていきたい旨の発言があった。

## 3. 工学部附属地域安全工学センターの設置について（資料8）

田中工学研究科長から、地域社会の安全安心と地域の持続的発展に寄与することを目的とし、研究プロジェクト（持続的過疎社会形成研究プロジェクト等）と連携した工学部附属地域安全工学センターを4/1付けで設置し、4/2開所式を行う予定である旨の報告があった。

## 4. 平成23年度学長経費の採択について（資料9）

林理事から、平成23年度学長経費の採択について、トップマネジメント経費として10件（26,790千円）を決定した旨報告があった。

## 5. その他

大学の動き及び最近の地域貢献の取り組み等については、資料10, 11にまとめていますので、ご覧頂きたい旨学長より発言があった。

以上